

==== 型技術ワークショップ2011 in 岐阜プログラム ====

9:30 ～ 受付開始 受付 (ホール2階 ロビー)
 9:50 ～ 10:00 実行委員長あいさつ 山縣 裕 (岐阜大学) 司会: 川西 和彦 (岐阜県商工労働部)
 型技術協会会長あいさつ 川田 康夫 (トヨタ自動車(株))
 10:00 ～ 11:00 **オープニング講演 「航空機に使用される材料と加工プロセスについて」** **川崎重工業(株) 航空宇宙カンパニー 後藤 淳氏**
 司会: 深川 仁 (岐阜大学) (ホール2階)

* 先頭が講演者
 * 展示会場および休憩室 (5階 中会議室2)

11:10	講演室 A (5階 中会議室1) 成形加工① 座長: 高谷 裕浩(大阪大学) A-1 プレス金型工程短縮化による金型費削減の取り組み 佐藤琢磨(ホンダエンジニアリング株) A-2 板鍛造による中空ボス製品の成形技術の開発 王志剛、吉川泰晴(岐阜大学) A-3 高速サーボプレスラインにおける金型技術の取り組み 近藤剛史(ホンダエンジニアリング株) A-4 超硬工具及び金型における硬質被膜除去技術のご紹介 沢井毅、石川誠、西尾大助(株新菱)、八代仁(岩手大学)	講演室 B (5階 小会議室1) 切削加工① 座長: 森重 功一(電気通信大学) B-1 微細溝切削による5軸マシニングセンタの幾何精度推定 山本通(オークマ株)、堤正臣(東京農工大学) B-2 金型製作における機械加工の生産性向上 岡山一洋(マツダ株) B-3 撮像式工具測定システムを用いた高精度機上測定事例 佐藤欣且(三菱重工業株) B-4 ストロボ同期照明を用いた回転工具の静止画観察 竹保義博、佐々木秀和、門藤至宏、筒本隆博(広島県立総合技術研究所)	講演室 C (5階 小会議室2) 金型加工・設計 座長: 成田 浩久(藤田保健衛生大学) C-1 理屈に基づいた金型作り 菅沼厚志、櫻場泰生、吉村正章(シミズ工業株) C-2 新冷間工具鋼 KD11MAX 殿村剛志(日本高周波鋼業株) C-3 3次元プレス金型設計のすすめ 大町勝一郎(株ナノソフト) C-4 プレス金型見込み形状データ作成に於ける品質保証の確率 氏家美徳(日産自動車株)	講演室 D (2階 研修室6) 鋳造・ダイカスト 座長: 青山 英樹(慶應義塾大学) D-1 ダイカスト射出時のチップ形状とスリーブ内凝固層の流動挙動 小倉純一、山木宏樹(ヤマハ発動機株)、内山智章、鈴木克美、櫻井大八郎(ものづくり大学)、木島秀弥 (ユーイーエス・ソフトウェア・アジア株) D-2 窒化ホウ素膜を施したダイカスト金型を用いての離型剤少量化の研究 島秀貴(株MORESCO)、野間正男(神港精機株)、山下満(兵庫県立工業技術センター) D-3 砂積層工法によるクーリングチャンネル金型の製作 小岩井修二(株コイワイ)、山縣裕 (岐阜大学) D-4 流路の温度管理をした低温金型による重力鋳造 三輪勇太(岐阜大学大学院)、山縣裕、新川真人(岐阜大学)
休 憩 (12:30~13:20)				
13:20	成形加工② 座長: 高谷 裕浩(大阪大学) A-5 熱可塑性炭素繊維シートのプレス成形 増澤健太、米山猛、伊藤拓実(金沢大学)、西原嘉隆、長島重憲、岡本雅之(コマツ産機株) A-6 ドアアウター 取手まわり面品質への取り組み ~ハンドル座 曲方案の開発~ 水越康文、橋屋博章(トヨタ自動車株) A-7 ハイテン材のシェービング加工技術の開発 山田智裕(岐阜大学大学院)、王志剛(岐阜大学)	CAD/CAM/CAE 座長: 森重 功一(電気通信大学) B-5 FEM を活用した面ひずみ対策の取り組みについて 椎名利行、田中美徳 (日産自動車株) B-6 ドロー成形シミュレーション最適化の取り組み 大年和徳、田代謙、田中美徳(日産自動車株) B-7 ハイサイクル成形における 3D 流動解析 Moldex3D の活用 後藤昌人、玉田勝(株セイロジャパン) B-8 CAE 解析の精度向上を志向した計測技術 青木壮太、青木崇 (丸紅情報システムズ株) B-9 電極作成・形彫放電加工用 CAD/CAM システム 下田智博、仲成章、山本龍司(三菱電機メカトロニクスソフトウェア株)	工作機械 座長: 白瀬 敬一(神戸大学) C-5 プレスプレーキ用高精度V曲げ加工制御システムの開発 余語一輝(岐阜大学大学院)、王志剛(岐阜大学) C-6 形彫放電加工機の最新技術 神谷聖人、和田光悦(三菱電機株) C-7 ワイヤ放電加工機の最新技術と加工事例 柴田淳一、和田光悦(三菱電機株) C-8 小型化する部品の精度要求に応える最新の加工技術 田端真樹、根本政典(株牧野フライス製作所) C-9 レーザ加工技術による高硬度材かつ高アスペクト比の高精度加工実現 赤松謙一(パナソニック株)	射出成形 座長: 青山 英樹(慶應義塾大学) D-5 プラスチックレンズ金型における離型抵抗計測 寺内浩将、新井健、門真啓、村田泰彦(日本工業大学) D-6 射出成形におけるバリ発生計測 菱田智大、村田泰彦、楠崇秀 (日本工業大学) D-7 冷却機能付きスプルーブッシュによる成形時間の短縮と安定成形 田中岳夫、和泉康夫、玉田哲朗(株新日本テック)、山縣裕 (岐阜大学) D-8 ヒートパイプによる効率的な成形金型温度コントロール 齊藤卓志、楊子璋、川口達也、佐藤勲(東京工業大学) D-9 水冷式スプルーブッシュによる成形サイクル短縮の取り組み 平野幹雄(ヤマハ発動機株)
14:20	休 憩 (14:20~14:30)			
14:30	日本の型技術の海外展開 —今から“できること”と“できないこと”— 司会: 山縣 裕(岐阜大学)、王 志剛(岐阜大学)			
15:10	*各講演20分 1. 「東南アジア諸国のものづくり事情と進出のきっかけをつくるには」 黒田 隆氏 (株式会社黒田製作所) 2. 「中小企業の体験的アジア戦略」 伊藤 澄夫氏 (株式会社伊藤製作所) 3. 「富士インパルスベトナムの15年の歩み」 山田 和邦氏 (富士インパルス株式会社) 4. 「中小モノづくり企業のこれからの海外展開」 井上 伸哉氏 (クエスト株式会社) *総合討論30分 (質疑応答含)	切削加工② 座長: 米山 猛(金沢大学) B-10 高速送りを実現するNCプログラム生成法 櫻井信太郎、斎藤洗輔、青山英樹(慶應義塾大学)、佐野記章(日本ユニシス・エクセリオンズ株) B-11 工具たわみ予測に基づく金型加工誤差の補償 西川隆敏、菊田敬一、筒本隆博、門藤至宏(広島県立総合技術研究所)、金子順一(埼玉大学) B-12 設計主導による3D-CAD データを活用した機械加工の効率化 城戸裕一(株今西製作所)、武藤一夫(静岡理工科大学) B-13 広領域梨地表面の作成法とその表面加工 畠山浩史、溝口知広、小林義和、白井健二(日本大学)	研削加工・研磨 座長: 笹原 弘之(東京農工大学) C-10 細深溝研削加工におけるブレード割れ対策 山田祐二、鬼頭秀仁、川合功二(株デンソー) C-11 自転/公転型研磨法の研究 林偉民(群馬大学大学院) C-12 画像処理による良否判定を用いた産業用ロボットによる研磨作業の自動化 岡本謙、森重功一(電気通信大学大学院) C-13 遊離砥粒を用いた金型水管内面のクリーニング(第2報) 表面突起付加による研磨効率の改善 古本達明、上田隆司(金沢大学)、網野亨(金沢大学大学院)、阿部諭(パナソニック電工株)	表面処理 座長: 戸澤 幸一(芝浦工業大学) D-10 鉄合金めっき被膜の金型などへの応用技術 石川祥久、及川渉、竹内榮一(日本プレーテック株)、山縣裕(岐阜大学) D-11 プレス成形における型かじりに関する研究 楊明緒(岐阜大学大学院)、王志剛、吉川泰晴(岐阜大学) D-12 ホットスタンピング用 DUPLEX コーティング 露木陽 (日本エリコンバルザース株) D-13 精密ショットピーニング(WPC 処理)による表面改質 中塚友幸、加藤修、久保田普堪(株不二機販)
休 憩 (15:00~15:10)				
16:30	16:20 終了			

16:40 ～ 17:40 **特別講演 「関鍛冶における型技術のいまむかし」** **尾上高熱工業 岐阜県技術アドバイザー 尾上 卓生氏**
 司会: 谷川 昌司 (寿金属工業(株)) (ホール2階)

ホテルリソル岐阜

18:10 ～ 20:10 **懇親会** 司会: 山下 実 (岐阜大学) 美花の間